

令和6年第18回玉野市教育委員会 会議録

I 期 日

令和6年12月25日（水）

II 会議時間

開会時間：14時00分

閉会時間：15時45分

III 出席委員

教育長 多田 一也

教育長職務代理者 二宮 崇

委員 横山 純子

委員 小野 文子

IV 欠席委員

委員 三宅 英次

V 説明のため出席した職員

教育次長 小崎 隆

教育総務課長 琵琶 学

就学前教育課長 片山 琢巳

学校教育課長 的場 佳代

社会教育課長 寶藏 光辰

（書記）清山 智保

VI 会議内容

1 開 会

2 前回会議録の承認

（1）令和6年第16回教育委員会会議（令和6年11月20日）の議決事項等について

教育長の報告：なし

議 事：なし

協 議：令和5年度教育委員会の事務に関する点検評価報告書（最終稿）について
ほかに3件

報 告：岡山市に準じた特別委託料及び障害児手当について 他2件

（2）令和6年第17回教育委員会会議（令和6年12月2日）の議決事項等について

教育長の報告：なし

議 事：なし

協 議：玉野市立小中学校適正規模・適正配置計画（案）について

報 告：なし

(いずれも承認)

3 教育長の報告

(1) 寄附について

非公開事項のため、会議録は公表しない。

(2) 行政不服審査法に基づく審査請求について

非公開事項のため、会議録は公表しない。

4 議 事 なし

5 協 議 なし

6 報 告

(1) 大崎小学校と八浜小学校の統合再編に関する陳情について 他7件

(教育総務課長) 資料により説明

11月21日、22日に、八浜地区・山田・後閑地区の保護者、地域住民の方から陳情書の提出があった。陳情書は全部で7件である。また、12月7日に、玉野の教育を考える会から玉野市立小中学校適正規模・適正配置計画を慎重に進めることを求める3,732名の署名とともに要望書が提出されている。

(二宮委員)

これを見ると、PTAや地域の大半が統廃合を望んだときに進めてもらいたいというのがみんなの総意、とある。これが本当に総意なのかとは正直思うところもあるが、子どもの数が減るとわかっている中で、どうしたいのかということがなかなか見えない。今の計画に反対、中止してもらいたいということしか見えない。どうしても反対意見の強い人たちの声が大きくなると、そうでも無い人たちがなんとなくそっちに流れるということはあると思うが、子どもたちのことを考えたときに、本当にこれでいいのかと思う。大半が統廃合を望んだときというと、かなり時間がかかるのではないかと

う。大半が望んだときが何年か先で、そこからしっかり時間をかけてとなるとさらに5年先、10年先となって、そこにすごい違和感がある。説明会はもちろん必要だと思うが、みなさんがどういうふうにしていくのがいいと思っているのかということ、聞いてみたい。今の状況をどうしたら、子どもたちの教育環境がよくなるのかというのを、ただ反対という意見では無くて、どういったことがいいのかということ、まずは意見交換をすることで、地域の声、保護者の声を聞きながら決めると言うことだと思う。一方的に説明しても納得されないと思うので、意見をもらえる形もいると思う。

(横山委員)

陳情書や署名を、非常に大変な労力をかかってやられたと思う。重く受け止めなければいけないと思う。修正案を公表して、どういった声があったのか現時点でわかる範囲で聞きたい。議会の方でも早すぎるんじゃないと言われていて、教育長も答弁していたが、計画は策定し、それ以降住民に対して説明を尽くすと。議会側の方は策定前の意見を聞く必要があるのではないかと。そこで食い違いがあるんじゃないかという認識を受けたが、私が教育委員になる前に令和4年の4月の段階で草案というのが公表され、かつ地域説明会もあって、当時はおそらく令和6年の3月に策定という話で、一市民としては、やっと動き出すのかという意識が、今思い起こしてみればあった。アンケートもあった。一生懸命答えたという記憶もあったので、素案の公表が6月だったということを考えれば、やはり早すぎるといわれても最もだとは思いますが、一方で、令和4年の4月から始まっていたということを今一度思い出して、そうであれば早すぎるのかということをも自分自身に問うてみても、決してそうではないのではないのかというふうに私自身は思っている。当初よりも1年遅れて令和7年3月に策定するというのであれば、策定をしてその後、住民と意見交換して理解を深めていくというのが一つ方法ではないかと思っている。

(教育総務課長)

今回計画の修正案を出して、保護者にも総務文教委員会協議会で説明した日には、通知させてもらった。新聞にも出たが、やはり新聞よりも先に知って欲しいということで当日に通知した。総務文教委員会協議会の時には、陳情書を出された主なメンバーの方々、全員ではないが、傍聴にも来られていた。議員からはしっかりと説明したうえで計画を策定した方がいいのではないかという話は出たが、正直なところ、計画が案のままで言えることはすごく限られており、計画が出来た後、実際に進めていくまでには2、3年あるので、それまでにしっかり地域や保護者と話し合いながら進めていかないことには、ゴール地点が見えないということで、計画を策定することがスタートライン、ここから各地域に赴いてしっかりとさせてもらうということを繰り返し説明させてもらった。傍聴に来られ

ていた方は、議員とのやりとりを聞いている中で、教育委員会はこの考え方なんだというのは伝わったと思っている。それが地域で正確に伝わるかどうかはわからないが、質問された「修正案を公表した後に反響があったか」というと、直接届いた意見は特になかった。

(横山委員)

具体的に、形になって出てきたものはないということか。

(教育総務課長)

そうである。

(小野委員)

新聞を見たときに、3 kmが2 kmになる、それが大きな見出しでも出ていたことで、玉野市は計画案を出してこれを押すようとしているのでは無くて、意見を聞きながら柔軟に対応しようという姿勢がわかってもらえたのではないかと思った。これからも話し合いを重ねて、歩み寄れるところは歩み寄る、子どものことを考えるとしても、ここはこうなんだ、こうであるべきだという教育的な配慮も主導的に説明しながら理解してもらおうということがこれからも必要だと思った。それから少人数学級のところは緻密な教育をしてもらってありがたいと言われるところがあると思うが、これが小学校から始まっているのでは無く、保育園・幼稚園のところから少人数というのは始まっている。保育園・幼稚園の先生方の少人数からできるというのもあるが、その生活の中で、10人での集団遊び、20人での集団遊びが出来る、遊具が1人で自由に使えるのでは無く、ルールを守りながらみんなで並んで待つとか、協調性、譲ることなども大人数の中でも必要である。だから小学校においても大人数による良い影響、絵を描いても、2～3人の描いた絵をただ見るのでは無く、10人で同じ物を画いたら10種類の絵がある、大人数の良さを、小学校からだけでなく、保育園・幼稚園の段階から、伝えていけたらいいのではないかと思う。

(二宮委員)

今回陳情が出ているのが八浜地区と山田地区であるが、他のところは、現状では出ていないということか。説明会はそこの地区に限ってするのか。

(教育総務課長)

今のところ他の地区からはない。小学校の徒歩通学の距離を3 kmから2 kmにして、バスの運行方法の検討などで1年時期をずらしている。来年度1年かけて、個別に説明していけたらと考えている。

(二宮委員)

先にうまいこといったケースっていうところも、プラスの情報として提供できれば、1つ2つの地区でやるだけでも大変なのに、全域でやるっていうこと自体が相当大変というのがわかっている中で、玉野の中でいい成功事例ができればいい方向に進むと思う。うまく行ったところもしっかりアピールできる形になればつながっていくと思う。

- (横山委員) 山田小学校区から要望書が出ているが、2年位前に山田地区から、早急にこの計画を進めるように要望書が出ていたと思う。それは何か事情の変更があったのか。今回出た要望書と数年前出た要望書と何がどうなっているのか。
- (教育総務課長) 山田中学校区の説明会に行ったときに、初めて後閑・山田小学校区の保護者から反対だという意見をもらった。昨年の4月に、山田小の保護者に適正規模化の説明をしたところ、その当時のPTA会長の方からは、早く進めてほしいといった意見があり、その時集まっていた保護者からも、特に反対の意見はなかった。また、要望書も提出されており、後閑・山田小・山田中、特に中学校からも本当に人数少なくて、このままでは良くないという思いから、早く適正規模化に取り組んでもらいたいという内容で、山田小・後閑小・山田中のPTA会長連名で提出されていた。その後PTA会長も変わり、保護者も変わっている中で、はっきりとはわからないが、方向性が変わってきたのではないかなと思う。
- (横山委員) 陳情書を提出しているのはPTA会長というのは変わらないのか。
- (教育総務課長) PTA会長は変わっているが、提出している立場としては変わらない。
- (小野委員) この話がふっと出てきたように感じているのだろうが、議会の一般質問でも、過去の経緯を順を追って説明してもらいたいという質問があったと思うが、ああいうものが市民にも必要なのかと思う。長年検討されていたんだということを理解してもらう必要があると思う。

(2) 玉野市立小中学校適正規模・適正配置計画(案)について

- (教育総務課長) 12月議会で、適正規模・適正配置計画の修正案を協議した。12月議会では一般質問で学校再編に関する質問がたくさんあった。一般質問に13人が登壇したが、このうち9人が学校再編の質問をした。それだけ関心が高く、新聞にも連日のように記事が取り上げられた。総務文教委員会協議会では、議員7人のうち2人は明確に反対の意見を言われた。特に八浜・山田地区は今回陳情が出ている中で、来年3月の計画策定をスケジュール通り進めるのか、計画策定する前にしっかり説明会を開いて保護者や地域住民から十分理解を得て進めるべきではないか、といった意見があった。教育委員会としては、計画は保護者や地域と具体的な協議を進めるためのスタートラインだと位置づけて、各地域に赴いて説明を行い、学校再編の必要性について対象地域の学校の保護者や地域の方と協議を行いながら計画を進めていくということで、計画が出来た後も各地域に説明を行っていくことにしていると答えている。また、今後のスケジュールとしては、1月6日から2月7日まで、パブリックコメントを実

施するように考えている。2月上旬に計画案の説明会として、2回説明会の開催を検討していることを伝えた。委員の中には、もう少し回数を増やした方がいいのではないかという意見もあったが、今のところ2回で考えている。

(多田教育長) 説明会で色々な意見をもらって修正した案を今出している。年明けにその案に対してパブリックコメントを受けるということになる。

(横山委員) 2月上旬に2回ほどやる説明会はどういった形のものになるか。

(教育総務課長) 今回出した計画案のポイントとして、素案から案になって、ここがこう変わったというような内容を、東地域、西地域の2つの会場で日を分けてやろうと思っている。

(3) 令和7年度 幼稚園・保育園・認定こども園の入園申込状況について

(就学前教育課長) 資料により説明

日比幼稚園の入園者が少ないが、入園予定の保護者に園児数を伝え同意をもらっており、令和7年度はこの人数で運営していくが、令和8年度に向けては、日比幼稚園の閉園について検討する必要があると考えている。

次回、教育委員会定例会は令和7年1月22日(水)14:00から開催するので参集願う。
以上で、令和6年第18回教育委員会を閉会する。

会議録調整者 書記 清山 智保

会議録署名委員 教育長 多田 一也

教育長職務代理者 二宮 崇